



第74回卒業式

【3月1日(火)】～ 実社会へ巣立ちました～



校長式辞

第74回卒業式が、和やかな雰囲気の中体育館に於いて挙行政され、職員が温かい気持ちで門出を見守る中、園芸工学・農業経済科12名、生活情報科19名、計31名の3年生が本校を巣立ちました。

今年も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の対策を取っての卒業式となりました。

卒業証書授与に続き、式辞を述べた山内校長は、「君たちは山川高校で過ごした三年間で、こんなにも立派に成長を遂げてくれました。」と激励を送りました。

卒業生答辞として前生徒会長の樋口麗愛さんが、3年間の思い出や学校への熱い思いを伝え、新しい進路先で頑張っていくことを力強く述べました。

卒業生には、山川高校で過ごした思い出を胸に、これからの長い人生の荒波を乗り越えて行ってほしいと思います。



卒業生答辞



A科 卒業証書授与



L科 卒業証書授与

【2月24日(木)】

介護講座

社会福祉法人喜入会より、講師として住吉孝平氏を迎えて、「介護は変わる」と題しまして、介護講座を開催しました。

対象生徒は、生活情報科1年生と園芸工学・農業経済科2年生です。

生徒たちは、介護に関する基礎的なことを「家庭総合」で学んでいます。今回の講座で、介護に関する学びと理解が深まることを期待しています。



営農の門出を励ます会【2月18日（金）】 農業活性化を担う人材を目指して



今年度本校を卒業し、「農業大学校へ進学」または「農業関連に就職」する生徒の門出を祝し、その意思を貫けるように励ますことを目的として、「営農の門出を励ます会」を開催しました。

今年度は、県立農業大学校に進学する濱上満成さん（開間中出身）、(株)エフワンに就職する尾曲正浩さん（喜入中出身）、岩崎産業(株)に就職する瀧上雷波さん（喜入中出身）の3名に対して、激励いたしました。

針 供 養 【2月4日（金）】 ～ 針へ感謝し、裁縫の上達を願って～

針仕事は、江戸時代から行われている年中行事の一つで、昔の女性にとっては大切な仕事の一つであり、縫い針は生活に欠かすことのできない大切な道具でした。

針供養の日は、針仕事を休み、お世話になった針に感謝し、併せて裁縫の上達を祈る昔からの行事です。

また、家庭クラブ新・旧役員引継ぎ式も行われました。

旧役員の方皆さん、1年間ありがとうございました。そして、新役員の方皆さん頑張って下さい。



オンライン保育交流会 【2月3日（木）】

保育園生との触れ合いを通して、幼児の特徴を知り、生徒が人としての心を成長させ、同時に自己理解や自立心・社会性・コミュニケーション力を育成するという目的で、慈光保育園・やまがわ保育園とオンライン保育交流会を実施しました。

この交流会で幼児の心を理解し、生徒自身も成長できたように思われます。

